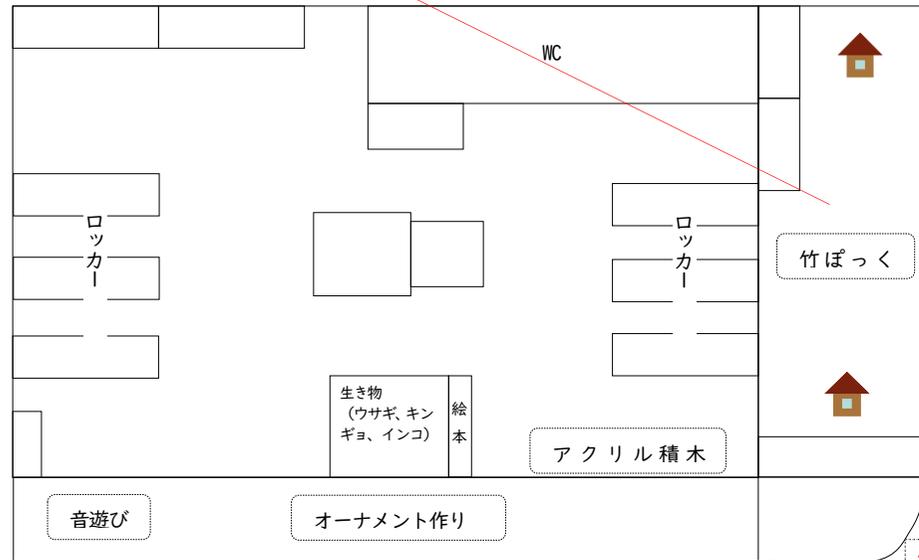


グループ	男児	女児	計	保 育 者			
				◇◇ ◇◇ ☺	●● ●● ☺		
				○○ ○○ ☺	△△ △△ ☺		

ね ら い	○自分なりに試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう ○季節の変化や、戸外の気持ちよさを感じながら生活する	内 容	・上着やエプロンの始末を自分でしようとする ・影や色が映ることに気が付き、喜んだり驚いたりしながら、試したり、工夫したりする ・クリスマスのイメージを思い浮かべながら、ツリーのオーナメントを作ったり、絵本を見たりする ・色々な素材を使って、音を出すことを試したり、聞き比べたりして遊ぶ ・イチヨウが裸木になっていく様子を感じたり、冬野菜の生長に気付いたりする
-------------	---	--------	---

8:45~9:00	10:20	10:40	11:00
<p>◆登園する ・先生や友達と挨拶を交わしたり、おしゃべりをしたりする ・上着をハンガーにかける ・持ち物を始末する</p> <p>○朝の出会いの場、上着の場、個別のかかりといった、主に3つの場に教師が身を据えて、それぞれの場で、朝の出会い、身支度をじっくりと丁寧に一人一人の幼児とかかわることができるようにする</p> <p>♡上着は自分でファスナーやボタンが閉められるように、個々の様子に応じて励ましたり途中で手を貸したりしながら、「自分でできた」の気持ちか味わえるようにする</p> <p>♡温かく気持ちの良い気候が予想される。寒くなる手前の貴重な一日に、戸外で遊ぶ心地よさを感じられるよう、積極的に戸外に誘っていく</p> <p>◇冬野菜の様子を見たり、水やりをしたりする☺ ○冬野菜への興味は個人差が大きい。色々な幼児が興味をもてるよう、教師が率先して世話をする姿を見せたり、誘ったりしていく(い1,5,11,16、り1,3,9.) ♡子どもの気付きを認めると共にその気づきを周りの子どもにも伝えていく</p> <p>◇音を鳴らして遊ぶ☺ ○先日、紙や缶の空き箱で音を鳴らすことを楽しんだ幼児(り8,9,11,12、い12,15)たちから誘いかけ、さらに色々な音を鳴らすことを楽しめるように、様々な素材を用意しておく</p> <p>♡教師も一緒に試したり、幼児の発見した音を真似して鳴らしてみたり、園庭でステージのようにして(“音楽隊”)遊ぶ際には音楽をかけた時、時には園庭をマーチングのように音を出しながら練り歩いたりなど、幼児の試しと一緒に楽しみつつ、より楽しくなるような働きかけを柔軟にしていく</p> <p>・子どもたちの姿を受けて、相撲ごっこをすることになり、この日は音遊びをする姿は見られなかった</p>	<p>◇したい遊びをする ◇かいたりつくったりする ◇アクリル積木で遊ぶ(影で遊ぶ) ◇ツリーのオーナメントを作る ◇音を鳴らして遊ぶ ◇ウサギの“ゆる”の遊び場を作ったり、一緒に遊んだりする</p> <p>◇冬野菜(ミニキャロット、コマツナ、ラディッシュ、カブ、ブロッコリー、ロマネスコ、カリフラワー)の様子を見たり、水やりをする(保育室前、畑) ◇ごっこ遊びをする(おうち、ピクニック)</p> <p>◆遊びに誘おうと思っていたり11やり12が、教師が登園準備をしている間に東側テラスで戦いごっこを始めていた。興奮している姿から、急遽相撲ごっこを提案した。皆で一緒に「よいしょ」と声を合わせて遊戯室に土俵マットを運ぶことで、相撲することに期待が高まっていった。繰り返し勝負をし、教師も仲間になって遊ぶと、なかなか勝てない教師に挑戦しようとする子ども、教師がする行司や応援をを真似る子ども、その賑やかな雰囲気に誘われて参加する子どもなど、様々な姿があった</p>	<p>◆片付けをする ♡楽しかった遊びのことを話題にしつつ、次の登園日が楽しみになるように声をかけたり、「配達屋さん」のイメージで楽しみながら片付けられるようにかかわる</p> <p>◆牛乳を飲む ○それぞれのペースで牛乳が飲めるよう、片付けを済ませ、準備が出来た幼児から南側テラスで飲めるように場を整える</p>	<p>◆クラスで集う ・絵本『クリスマスのおばけ』を見る ○2学期に「おばけ」のイメージで色々な遊びに遊んできた3歳児。家庭も巻き込んでおばけの世界を楽しんでいるので、おばけと共に、季節を感じられるよう、「クリスマスのおばけ」の絵本を見る</p> <p>○落ち着いて見られるよう、ベンチや絨毯で場を整えておく ♡絵本の世界に浸って楽しめるよう、抑揚をつけたり、一人一人と視線を合わせたり、間を楽しんだり、表情豊かに読むようにする</p> <p>・教師が職員室に絵本を忘れたと思って取りに行く間に、「10の間に帰ってくるね、数えてね」と伝え取りに行くと、数えることも楽しんで待っていた。絵本を開くと、これまでと同じシリーズのおばけに興味をもち、画面と教師の顔を見比べながらどンドン絵本の世界に入り込んでいく姿が見られた。</p> <p>◇クリスマスツリーの飾りを作る(オーナメント作り)☺ ○好きな材料を使って自分だけの飾りが作れるように、様々な材料を用意しておく。(様々な形に切った段ボール、モール、ドングリ、毛糸、クリームに見立てたボンド(色付け用絵具)など) ○できたものをすぐに飾ることができるようにツリーに見立てているゴールドクレストの近くに場を設けておくとともに、作ったものを乾かすための机も用意しておく</p> <p>♡教師も楽しみながら一緒に作るとともに、子どもが発した「きれい」「嬉しい」などの様々な言葉に共感したり、共に喜んだりする(り10,13,14、い3,4,8)</p> <p>・教師が色付きのボンドを作り始めると、それにも興味を示し、自ら絵の具とボンドを混ぜ合わせてクリームを作っては、「これは〇味」と見立て、自分だけのオーナメントをつくること楽しむと共に、ボンドが乾くのを心待ちにする姿があった。</p> <p>◇竹ぼっくりで遊ぶ☺ ○テラスよりも歩きやすいように、転んでも怪我をしにくいように、また、長い距離を歩けるように縦長に芝生を敷いておく ○座って乗りはじめることができるようにベンチを用意しておく</p> <p>♡子どもの「できた」の喜びを共に喜んだり、教師も仲間になって一緒に遊んだりする 東側テラスで相撲をすることにしたため、遊びの場が限られてしまった</p> <p>◇アクリル積木で遊ぶ(影で遊ぶ)☺ ○南側窓に貼っているセロファンシート、日差しによって色の影ができることに昨日気が付いた。自分のエプロンや服、顔に色の影がつくことを試していたことから、朝の陽がして影を楽しめるように、セロファンシートの影の色で楽しみつつ、アクリル積木も用意しておく(り5,6、い8,10)</p> <p>・り5が窓に貼っていたセロファンシートの色がエプロンに映し出された色の影に気付いた姿を受けて、窓際にテーブルを置いてアクリル積木を出した。積むことや、積木の色を喜んで遊んでいる様子ではあったが、窓側に座った子どもの影が重なり机に色の影が映らなかったり、そもそも色の影に気付いていない様子であった</p>



**反省・評価**

・オーナメント作りでは、教師の真似をしつつも、自分なりに試したり工夫したりして作る姿があった。内容として音遊びの場も計画したが、幼児の実態から相撲ごっこを新たに提案することにした。その中では、友達と体をぶつけ合ったり、応援をしたり、声を合わせて運んだりするなど、友達と身体を通して積極的にかかわろうとする姿が多く見られた。

・植物の変化については気が向きにくい様子が見られたので、教師が積極的にしている姿を見せたり、誘ったりする必要があった。一方で、窓のセロファンシートの影に気が付き喜ぶなど自然現象に興味をもつ姿があった。一方で、アクリル積み木は積み木としての楽しさが大きく、影が映る、透けるといった特性には気づいていない様子であった。そういった特性にも気付いていけるよう、繰り返し遊んでいきたい

グループ	男児	女児	計	保育者
				〇〇 〇〇♪
				△△ △△🎵

ね ら い	<p>〇いろいろな友達とかかわりながら、遊ぶことを楽しむ</p> <p>〇季節の移り変わりを感じながら、身近な自然に触れて遊ぶ楽しさを味わう</p>	内容	<p>・友達や先生と一緒に、思いを素直に出したり、友達の思いを感じたりしながら、したい遊びをする</p> <p>・園内の身近な自然に親しみ、触れて遊んだり、自分たちで始末をしたりする</p> <p>・クリスマスの雰囲気を楽しみながら、クリスマスの飾りをつくったり、サンタに思いを寄せたりする</p> <p>・みんなで簡単なルールを共有しながら、楽しんで遊ぶ</p>
-------------	--	----	--

8:45~9:00 10:20~ 10:50~ 11:05~ 11:20~ 11:30

**◆登園する**  
**◆持ち物の始末をする**

- ・帽子を掛ける、水筒をロッカーの上に置く。
- ・出席ノートにシールを貼る。

〇登園してきた幼児が、出席ノートにシールを貼りながら、友達や教師と話ず場となるよう、教師が座るイスと幼児が座るベンチを用意しておく。

♡一人一人の幼児と挨拶を交わしたり、話をしたりして、幼児が一日を安心して始めることができるようにする。また、教師が幼児の様子を知ることができるようにする。

♡持ち物の始末がなかなか進みにくい幼児には、必要に応じて、具体的に何をするのか声を掛けたり、遊びに誘ったりして、持ち物の始末に気持ちを向けることができるようにする。

**◆栽培物に水をやり、様子を見たりする**

〇幼児が、自分のジョウロで、栽培物に水やりをすることができるよう、幼児が出し入れしやすい場所(靴箱の上)に、ペットボトルジョウロを用意しておく。

♡自分が育てている野菜や花の生長への幼児なりの気付きや発見を受け止めたり、共感したりしていく。また、友達が育てている栽培物にも目を向けることができるよう声を掛けていく。

**◇したい遊びをする**  
**【保育室】**

- ・ウサギの“もこ”や、インコの“にじ”、金魚の様子を見たり、餌をやったりする
- ・中積み木で遊ぶ
- ・ままごとをする
- ・かいたりつくったりする

**【園庭】**

- ・水や砂、泥で遊ぶ
- ・固定遊具で遊ぶ
- ・落ち葉で遊ぶ
- ・イチヨウの葉の始末をする
- ・ボールで遊ぶ

**【テラス】**

- ・クリスマスの雰囲気を感じて遊ぶ

**◆片付けをする**

♡楽しかった気持ちや、もっとしたいという思いを受け止めたり共感したりしながら、次の活動について話したりして、楽しく片付けができるようにする。

♡教師も一緒に片付けをしながら、きれいになっていく気持ちよさに共感したり、片付いていないところを一緒に探したりして、自分たちが片付けをしてきれいにするこの大切さや気持ちよさを感じられるようにしていく。

**◆牛乳を飲む**

♡牛乳を注ぐ際には、多め、少なめなど、幼児の要求に応じていき、それぞれの幼児が安心して飲み切ることができる量になるように注いでいく。

**◆みんなで集って遊ぶ**

- ・イスとりゲームをする

**◆降園準備をする**

♡楽しかった気持ちやもっと遊びたいという気持ちを受け止めたり共感したりしながら、降園準備に気持ちを切り替えることができるようかかわっていく。

〇エプロンや上着など、忘れ物がないよう、幼児の目につきやすい場所に移動する。

**◆降園する**

**◇クリスマスの雰囲気を感じて遊ぶ** (き:3, 10, 14 み:5, 15) 🎵

- ・飾りをつくる
- ・絵本や飾りを見る
- ・楽器を鳴らして遊ぶ

〇前日に附属特別支援学校の高校生にもらった棚、リースも活用して、幼児のリースなどを飾り、クリスマスの楽しい雰囲気を感じられるようにする。

〇絵本や楽器に触れ、絵や音からもクリスマスの雰囲気を感じたり、イメージを広げたりできるようにする。

〇リースやツリーの飾りをつくる際に使用した材料などを使いやすい整理して出しておき、自分なりに組み合わせたり、工夫したりして遊べるようにする。

♡クリスマスの雰囲気を楽しんだり、サンタに思いを寄せたりできるように、幼児と共に楽しむ。

き:10, み:5...落ち着いた雰囲気、ゆったりと飾りをつくって楽しむ姿が見られた。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

・イチヨウの葉の始末は、なるべくみんなで行うようにしたが、降園前に全体で集う活動は、できなかった。学級で集う楽しさも感じ、一日を楽しい気持ちで終え、次の日に期待感をもって降園できるような、一日の振り返りの時間も、もつことができなかった。保育時間において何をねらい、経験してほしいかを改めて考えていく必要がある。

**◆イスとりゲームをする**

〇みんなで円になって遊ぶことができるよう、幼児と一緒に場をつくる。

♡初めは、全員が座ることができるようにし、ピアノが止まったら座るという、音を聞いて動くことを楽しむことができるようにする。

♡教師も一緒に遊んだり、少しずつイスを減らしていったりして、イスとりゲームの楽しさを味わうことができるようにしていく。

♡イスに座ることができなくても、遊びを楽しむことができるよう、イスに座ることができなかった幼児に、好きな食べ物や好きな色など、簡単なインタビューをして、楽しい雰囲気をつくっていく。

**◇ボールで遊ぶ(転がしドッジボール)** (き:2, 5, 6, 7, 9, 13, 14, 15 み:2, 12)

〇遊びたいと思ったときに、遊びを始めることができるように、ボールを幼児の手の届くところに置いておく。

〇幼児も、遊びの途中で線を引直すことができるよう、ジョウロを用意しておく。

♡「仲間増やし」を楽しむことができるよう、教師も一緒に遊びながら、仲間を増やしていくことや、仲間になったことを一緒に喜び、少しずつ、簡単なルールのある遊びの楽しさを感じることができるよう、かかわっていく。

**◆イチヨウの葉を始末する**

♡落ち葉の色や質感の変化を感じ、これまで十分に遊んできたイチヨウの葉に感謝したり、遊びに区切りをつけたりできるようにかかわる。

〇イチヨウの葉を集める場、運ぶカゴなどを用意し、楽しみながら、進んで始末ができるようにする。

〇毎日、続けて遊んできたので、今日、遊んでいない幼児も一緒に全体のこととして活動できるように投げかけていく。

**◇しまじろうなど、ごっこ遊びをする** (き:4, 16 み:1, 9)

〇幼児が自分たちで、ままごとの遊びの場を整えることができるよう中積み木とともに、じゅうたんや、キッチンを置いておく。

♡ままごとの遊びの場を整える際には、教師も一緒にじゅうたんに敷いたり、キッチンを運んだりして、幼児が自分たちで遊び場をつくることを支えていく。

〇ケーキをつくりたい幼児が、ケーキづくりをすることができるよう、段ボールを小さく切ったものやどんぐり、ポンドを用意しておく。

〇ケーキ屋さんや、本屋さんなど、これまでも遊んでいた、ごっこ遊びがしたい幼児がいる場合には、一緒に場を整えていく。

♡幼児同士のやりとりを見守りながらも、必要に応じて、教師が遊びに加わり、より遊びを展開したり、楽しんで遊んだりすることができるようにする。

**◇落ち葉で遊ぶ** ♪ (き:1, 8, 11, 12 み:3, 4, 6, 7, 14, 15)

〇イチヨウの葉の色やたくさん量、触った感覚などを十分に味わえるように、教師も思い切り楽しんで遊ぶ。

♡「ベット」「お家」「たき火」など子どものイメージを楽しんで受け止め、イメージの世界で遊ぶことを楽しめるようにする。

♡落ち葉が進み、木に葉がなくなってきたことに気づいてきている。子どもの気づきや季節の移り変わり、イチヨウの葉で遊んで楽しい思いに共感し、一緒に見たり、遊んだりする。

〇イチヨウの葉を集めて放り投げると、砂と一緒に投げってしまうことがある。危険な場合には、気付いていけるように声を掛ける。

反省・評価

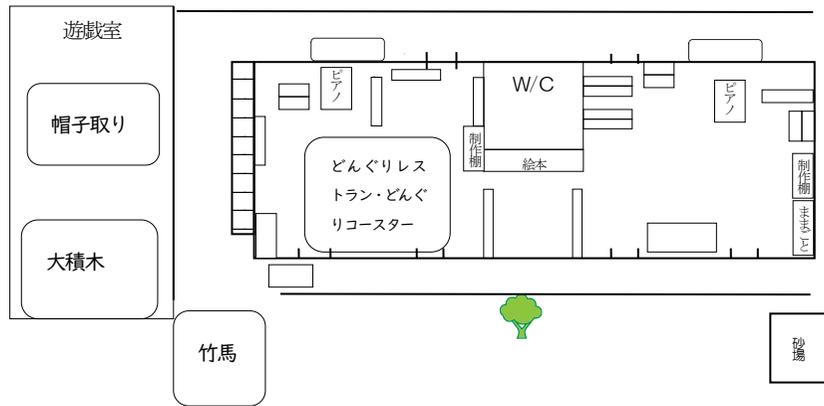
・季節の移り変わりを感じながら遊んでほしいと願い、教師も一緒にイチヨウの葉で遊んだり、イチヨウの葉の始末をしたりすることができた。一方、遊びの内容に関して、しまじろうや転がしドッジボールといった体を動かす遊びは盛り上がり、大人数で遊ぶ姿が見られたが、保育室内での遊びや、じっくりと探究しながら遊ぶような遊びを保障することができたとはいえない。一人一人の幼児の遊びの充実ということ、環境の構成や教師の関わりも含めて、今後、しっかりと考えていきたい。

・イチヨウの葉の始末に時間がかかったことや、エプロンがなくなった幼児がいたことから、イスとりゲームやみんなで集って一日をゆったりと振り返ることはできなかった。一日を通して、なるべく、何らかのみんなで集う活動は行いたいと考えている。どのような姿に育ってほしいか、そのために保育の中で何をねらいとするか、何を体験するかを改めて考えていきたい。

組	男児	女児	計	保育者
				〇〇 〇〇 ♪ △△ △△ ☆

ね ら い	<p>○久しぶりの幼稚園、いつもと違う環境の中、友達や先生と一緒に安心して過ごし、自分たちなりのめあてをもって遊ぶことを楽しむ</p> <p>○自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりしながら、遊びを進めようとする</p>	内 容	<p>・これまでしていた遊びを思い出して引き続き楽しんだり、友達と久しぶりに会えたことを喜びながら誘い合って遊んだりする</p> <p>・どんぐりレストランやどんぐりコースターにお客さんを招くために、いろいろな素材を組み合わせて試したり工夫したりしながら、ごちそうや飾りをつくる</p> <p>・チームの数やバランスを考えながらチームをつくって帽子取りを進めようとする</p> <p>・自分なりのめあてをもち、体を十分に動かしてのびのびと遊ぶ</p>
-------------	---	--------	---

8:45~9:00	9:15~	10:30~	10:50~	11:15~	11:40
◆登園する	◇好きな遊びをする	◆片付けをする	◆手洗い・うがいをして牛乳を飲む	◆クラスで集う	◆降園する
<p>・先生や友達と挨拶を交わしたり、おしゃべりをする</p> <p>・荷物始末をする</p> <p>・手洗い・うがいをする</p> <p>・出席ノートにハンコを押す</p> <p>♡3日ぶりの登園なので、「待っていたよ」の気持ちがあるように、一人ずつに声をかけたり目を合わせたりしながら挨拶をする。</p> <p>♡いつもと違う環境で落ち着かない幼児(2,10,21)の姿が予想される。安心して過ごせるように声をかける。</p> <p>3日間の休みを感じさせない安定した姿だった。</p> <p>◆生き物の世話をしたり、様子を見たりする</p> <p>♡大勢の参観者にみてもらっているという、いつもと違う状況の中、自分たちで進めにくい様子がある時には、教師が声かけし、安心してできるようにする</p> <p>◇グループで育てている夏野菜、個人鉢のワタ花の様子を見たり水をやったりする</p> <p>◇動物当番や花当番をする 動物当番：(⑦, 9, 23, 27) 花当番：(⑥, 10, 21, ③)</p> <p>◇グループで育てている冬野菜、個人鉢の綿花や水の様子を見たり、水をやったりする</p> <p>♡養護教諭と連携を取り、動物当番の様子を見守ってもらう</p> <p>◇帽子取りをする☆(1, 2, 4, 5, 9, 10, 11, 16, 17, 18, 20, 23, 25, 29)</p> <p>○帽子やマットは、幼児が置き場所としている場所に置いておくことで、やりたいと思った時に自分たちで場所づくりができるようにする</p> <p>♡帽子取をする幼児が増えてきたので、その数に応じた場の取り方を知らせながら、安全に気を付けて遊べるようにする</p> <p>♡自分たちで進めようとする姿を見守りながら、思いが周りに伝わりにくい時には、体を十分に動かす楽しさ、勝負の喜びや悔しさを味わえるように、教師が声かけする</p> <p>・帽子が床に落ちるまでの間にキャッチした帽子は、取れたのか取れていないか、など、その都度困りを伝える姿があった。教師が間に入らないと話し合いばかりになって、楽しくなくなってしまふ様子があった。</p> <p>・1つのチームの人数の数が少なくなり陣地から出にくくなると、途中から1対1の勝負にすると新しい考えが23によって出てきたことで、さらに真剣勝負になり、盛り上がる様子があった。</p> <p>・2や25が、1対1の勝負になった時に、教師や友達が応援すると、最後までがんばる姿があった。</p>	<p>・どんぐりレストランのごちそうづくりや飾りづくりをする</p> <p>・大積木で遊ぶ</p> <p>・帽子取りをする</p> <p>・竹馬で遊ぶ など</p> <p>♡ 幼児と一緒に片付けながら、自分で考えて行動している姿や友達と協力しながら片付けたりする姿を認める。するべきことが見つかりにくい幼児には、何ができるか気づけるように声をかけたり、一緒に考えたりして、片付ける気持ちよさを感じられるようにする</p> <p>あまりかかわれなかった遊びの子どもには、遊びの様子を尋ね、その楽しかった思いを受け止めたり、教師の思いを伝えたりする</p> <p>◇大積木で家づくりをする (12, 26, 27, ③③)</p> <p>♡少人数の仲間と一緒にすることで、イメージを共有して遊ぶ楽しさを感じている姿を見守る。これまでと違う作り方をしていたり、危険のないように工夫したりする姿を認める</p> <p>♡欠席の関係で、仲間が集まりにくく、困っている時には遊び方を相談する</p> <p>・当番だった27や③も、少しの間だけお家づくりをしてお客さんに見てもらって満足する姿があった</p>	<p>◇竹馬で遊ぶ (13, 21, ②)</p> <p>○天気がよく、帽子取が遊戯室で活発に行われている場合は、遊戯室前テラスで遊べるように幼児に知らせ、自分たちで遊び出せるようにする</p> <p>♡めあてをもって遊ぶ姿を見守る。周りにたくさんの参観者がいることが予想されるので、子ども自身が安全面に気を付けて乗れるように、考えることができるようにかかわる</p>	<p>○集うことが楽しみに思えるように歌を歌いながら場の雰囲気を作っていく</p> <p>♡みんなが集い、ホッとした気持ちを感じられる時間になるように雰囲気づくりをする</p> <p>◆動物当番の気付きを聞いたり、次の当番を知ったりする</p> <p>♡カメが砂のところにうずくまっていることを冬眠とつなげて考えたり、チャボが卵を再び産みだしたことを喜んだりしている。子どもの気付きを共有できる時間をとる</p> <p>・27が卵を落として割れてしまったことをみんなの前で話す</p>	<p>・遊びの振り返りをする</p> <p>・休みの間の幼稚園の様子を伝える</p> <p>♡昨日特別支援学校の生徒が幼稚園の掃除をしたり、手作りのプレゼントを持ってきたりしてくれたことを伝え、以前に遊びに行かせてもらった特別支援学校とのつながりを感じられるようにする</p> <p>・絵本『100にんのサンタクロース』を見る</p> <p>→時間がなくてできなかった</p>	<p>・降園準備をして降園する</p> <p>♡自分が着る着た後のハンガーの片付けについて、みんなが使う物をきれいにすることに意識をもってする姿があるので、自分でしようとしている姿を認める</p> <p>♡2日間の休みがあることを知らせ、次にまた元気に登園できるように、気持ちよく挨拶を交わし合う</p>



反省・評価

・3日前の遊びの続きを意欲的に楽しむ姿があった。帽子取りでは、自分たちで進めようとする姿がある一方で、「それはとってない」「とった」という事実がわからないことに対してずっと折り合いがつけられない姿もあり、教師が間に入り、思いが引き出せるようにかかわるうちに、折り合いをつけて次に進む姿があった。2や25は、教師の支えがあると、最後までがんばる姿があり自信につながっていた。

・どんぐりレストランは、自分たちで家から材料をもってきて遊び出す姿、友達と誘い合って遊び出す姿があり、めあてをもって遊びを進めようとしていた。紙粘土を使ってイメージをもってつくる中で、友達の考えを認めたり取り入れたりして、刺激し合いながら遊ぶ姿があった。

ねらい	<p>○植栽や栽培物に関心を持ち、生長を喜ぶ ○風邪を引かない体を作ろうとする</p>	内容	<p>・戸外の心地よさを五感を通して感じながら、体を通して十分に動かし遊ぶ ・冬野菜の生長に目を向け世話をすることで生長に気付いたり、喜んだりする ・手洗いの手順を思い出し、丁寧に洗ったり、忘れずガラガラうがいをしたりする ・トイレをキレイにしようとする ・鼻が出たらかんだり、咳が出る時にはマスクをしたりしようとする</p>
	<p>8:45~9:00</p> <p>◆登園する</p> <p>○校務支援システムを活用し、健康観察を確認する</p> <p>○手洗い場・トイレの衛生状態に気をつけて点検し、適宜清掃をする</p> <p>○遊具が朝露で濡れている時には、拭いておく</p> <p>○危険な場所がないか、巡回して点検する</p> <p>○牛乳パックに破損がないか確認、賞味期限を点検、衛生的に保存する</p> <p>○ネコの糞や落ち葉の有無を確認して、落ち葉を取り除き、砂場のネットをはずす</p> <p>◎出欠席確認 園内巡視をする</p> <p>◇けが、体調不良の手当てを受ける ◆お茶を飲む ◆手洗いをする ◆牛乳・ジュースを飲む ◆降園する</p> <p>◎教官室前であいさつを交わす。健康観察ができていない子どもの保護者に声をかけ、健康状態を確認する</p> <p>◎一人ひとりの子どもの表情や声、体の動きから健康観察をする</p> <p>◎欠席していた子どもが登園できたことを喜ぶと共に、受診結果や子どもの様子を保護者に尋ねる。支援が必要な子どもの朝の調子を保護者に尋ね、保育者に伝える学級閉鎖中だった5歳児の登園を喜ぶとともに、健康状態を確認する</p> <p>◎インフルエンザから治癒して登園の際には、登園届を提出してもらうよう声をかける</p> <p>◎経過観察が必要なケガをした幼児と保護者に、声をかけケガのその後の状態を確認する</p> <p>欠席 きく組 病欠 3名 事故欠 1名 もも組 病欠 1名 事故欠 2名 さくら組 病欠 8名 事故欠 2名</p>	<p>9:15頃</p> <p>9:50~10:45頃</p> <p>11:00頃~</p> <p>◎朝の欠席連絡後の人数の確認及び、保護者からの情報を担任に伝える</p> <p>○手洗い場・トイレの使用状態を見て、清潔に保てるよう必要に応じてかかわる</p> <p>◎トイレの使い方が正しくできているか(スリッパをそろえる・使用後は流す・手を洗う)を幼児自身が気が付き、できるように声をかける</p> <p>◎丁寧に手洗いでできるように、正しい手洗いの方法を伝えたり、一緒に洗ったりして伝える。</p> <p>○足洗い場に足ふきマットが準備されているか確認し、足りなければ補充する また、足洗をする時に、寒くないように、お湯を入れたバケツを用意する</p> <p>○怪我をした時に洗浄する手洗い場に、足ふきマットとタオルを準備しておく</p> <p>◎咳や鼻水が出ている幼児には、マスクをするように伝えたり、鼻をかむように伝えたりする。感染を広げてしまうことを、幼児が理解できる言葉で伝える</p> <p>◎園庭で遊んでいる幼児を見守りつつ、安全に遊べるように一緒に遊び、危ない遊び方をしている幼児には、なぜ危ないのかを伝える。また、帽子をかぶっていない幼児には、頭を守るために帽子が必要だということを伝え、帽子をかぶらせる</p> <p>◎けがや体調不良で来室した子どもに「いつ・どこで・どうして・どなったのか」「どこが一番痛い(かゆい・おかしい)」のかできるだけ自分の言葉で説明できるように促す</p> <p>◎けがや体調を崩したことによる痛みや悲しい気持ちを受け止め、痛い場所を触りながら確認し、安心できるような声かけをする。</p> <p>◎子ども同士のいざこざで起こった怪我の場合は、なぜ怪我をしたのか状況をゆっくり聞き、担任が怪我や状況を知っているか確認し、知らない場合は情報を共有する</p> <p>◎花当番が水やりをする際には、野菜の生長に気が付いたり、興味を持てるように、その野菜の特徴や様子を伝えたり、何の野菜かのクイズをする</p> <p>◎遊びこめず、困っている様子の幼児に声をかけ、一緒に落ち葉で遊んだり、野菜の水やりをしたり、カリンのはちみつ漬けが出来そうな実を探したりする(リンゴ 10)</p> <p>*カリンの収穫をすることを伝え、「やー!」と言い、「先生、抱っこして」と自分なりにどうやったら収穫できるのかを考え、教師と一緒に収穫する姿がみられた。 *収穫したカリンを友達や先生に見てもらいたいという思いから、「S先生に見せてくる!」と嬉しそうに、クラスに持ち帰る姿が見られた。</p> <p>○牛乳給食の検食の準備と保存食を取り、集団食中毒が起きないよう、子どもたちが安全に牛乳が飲めるようにする</p> <p>◎牛乳の時間になってもなかなか集まることができない子どもには、寄り添いつつ次の活動への見通しがもてるよう声かけをする</p> <p>◎一人ひとりの子どもの健康状態を観察しながら見送る</p> <p>◎けがや体調不良などで保健室に来た子どものその後の様子を確認し、安心できるように声をかける</p> <p>◎けがや体調不良などで保健室に来た子どもの様子や、手当てをしたことを迎える保護者に報告し、帰宅後の観察事項やより良い手当ての方法を伝える</p> <p>◎一日を通して、子どもの成長が感じられた場面や、楽しんでた様子を伝え、成長を共に喜ぶ</p> <p>*カリンを頑張って収穫した姿を保護者に伝えると、「あの高いのをとったんですか?」と驚いたり、抱っこして収穫したことを伝え、「先生、重かったでしょう」とねぎらう姿が見られた。また、大きなカリンの実を見た時には、「あんな大きいのができてたんですね」や触ってみたら「思ったより固いですね」と初めて触るカリンの実に驚く姿が見られた。</p>	
反省・評価	<p>日に日に落ちてくるカリンの実に興味を持つ子どもたちが多く、カリンが食べられる実だということにはなかなか気づけなかった。それでも、梅の実を拾って食べた経験があるからか、実を見つけては保健室に届ける姿が見られた。落ちてくる実には目を向けるが、なかなか高いところにある実には目を向けるのが難しかった。今回、初めて実際になっている実を子どもと収穫したが、どうしたら安全に収穫できるかを事前に考え予測して準備しておく必要を感じた。例えば、三脚を用意しておき、どの高さまでなら安全に収穫できるかを検討しておく必要があったと思う。今日の収穫がどのようなもの(カリンのハチミツ漬け)に変化するのか、見通しが持てる声掛けや実際の作っている写真などがあつたら、もっと収穫に意欲がわいたように思う。</p> <p>また、インフルエンザなどの感染症が流行したこともあり、うがいや手洗い、換気が十分に行われているかを定期的に巡回指導することで、清潔への意識づけにつながると考える。そのため、なげうがいや手洗いをしなければならぬ理由を丁寧に伝えつつ、手洗い指導を行う必要がある。</p>		